

今月から新しく始まったコーナー「ワードローブ新・発見」の担当をされている宮内彩さんのお母様であり、ファッション評論家である大内順子さん。これまでのパリ、ミラノといったヨーロッパに代わり、最近はニュージーランドに注目しているとのこと。自然や、素朴さ、といったほかにも大きな魅力がニュージーランドにはあると語っていただきました。

初めてニュージーランドを訪れたのは2000年の12月のことです。娘の彩の結婚が決り、その引越しの手伝いでオークランドに参りました。

それまでのニュージーランドの印象は、豊かな自然、牧歌的な風景、親切で素朴な人々など一般的に言われているものでしたが、実際に来てみて、それらを実感いたしました。娘の家で、入居のための準備をしているときのことです。ペランダから外を見ると、お庭の手入れをしていた隣の人がお花を片手に笑顔でこちらに手を振ってくれました。そして初めて会う私たちに、あなたたちは新しいお隣さん?と一声。日本では聞くことがなくなつたこの一言は、あたたかい気持ちの上に軟着陸したような気分にしてくれました。

「やわらかい国民性」

また、家では改装工事をしていたのですが、少し遅れていました。その業者の人も、遅れていてゴメンナサイ、でも急いで進めるから心配しないで」と申し訳なさそうに言っ

てくれるではありませんか。これがヨーロッパであればたとえ仕事が遅れていたとしても業者の人は決してそのようなことは言いません。こういった何気ない会話から、ニュージーランドの人のやわらかさが伝わってきました。

「新しいイメージ」

その後は01年の2月に娘の結婚式の時に参りました。このときには初めて来たときに感じたやわらかさ以外のものを発見することができました。ケータリングサービスが一つの例です。結婚式の前日に娘の新居で開いたBQ、パーティや、式の当日の野外パーティでのケータリングサービスは、お料理そのものだけでなく、スタッフのサービスにおいてパリやNYのそれに比較しても全く劣らず、とても洗練されたしゃれた気のあるものでした。

ニュージーランドのイメージは、自然や、羊や、素朴さなどが先行しています。しかし文化という面でも素晴らしいものを持っていると感じますし、今や決して、ダサイ国ではないと思います。ファッションに関しても、同じことが言えます。時折

と生活にあつたものを必要に応じて着ることが、これからのファッションです。

「自然体」

現在はこれまでに以上に着よう

スが多くなっています。その中で自分に合ったものを選択すれば良いのです。流行っているというだけで、自分の好みを後回しにして、自分に合わないものを選ぶべきは、ちぐはぐになります。そのちぐはぐこそがダサイの原因です。そういった点でニュージーランド人は自然体です。自分の好きなものに対してストレートに反応していきます。ファッションでもライフスタイルでも他人に左右されないところが、ニュージーランドの良さになっていると思います。

このほかにも、甘みのある野菜、自然の中で味わうワイン、リゾート地のような家など、ニュージーランドに魅力がいっぱい詰まっていると言う大内さん。年間のスケジュールが決まっているために、なかなかこちらに来る時間がとりにくいのですが、今後ともニュージーランドには足繁く通いたいと思っています」と仰っていました。



大内順子 おおうち じゅんこ

ファッション評論家
ジャーナリスト
上海生まれ、青山学院大学卒、新聞・雑誌等の執筆他、TV番組、企画、出演「ファッション通信」(TV東京系)講演、イベント、その他企画、演出など。世界各地でのファッションコンクールの審査委員。パリ市、ミラノ市をはじめNYファッショングループ、FEC等より受賞多。2001年には仏政府よりフランス政府、文化勲章を受ける。ファッションのことが満載のホームページはwww.ouchi-junko.com

ニュージーランドで憧れの「お花屋さん」になろう

Florist Internship Programme

＊ プロから学ぶ

Basic & Advance Floristry course 《前半2週間》
・フラワーデザイン、カスタマーサービス

＊ ＊ プロと働く

Florist Internship 《後半2週間》
・オークランド市内有名フローリストにて研修

www.hanaclub.co.nz

Flower Specialist

HanaClub NZ

105 Coronation Road,
Mangere Bridge Auckland
Tel & Fax: 09-636-5835
Mobile: 021-132-5521
E-mail: hanaclub@xtra.co.nz